

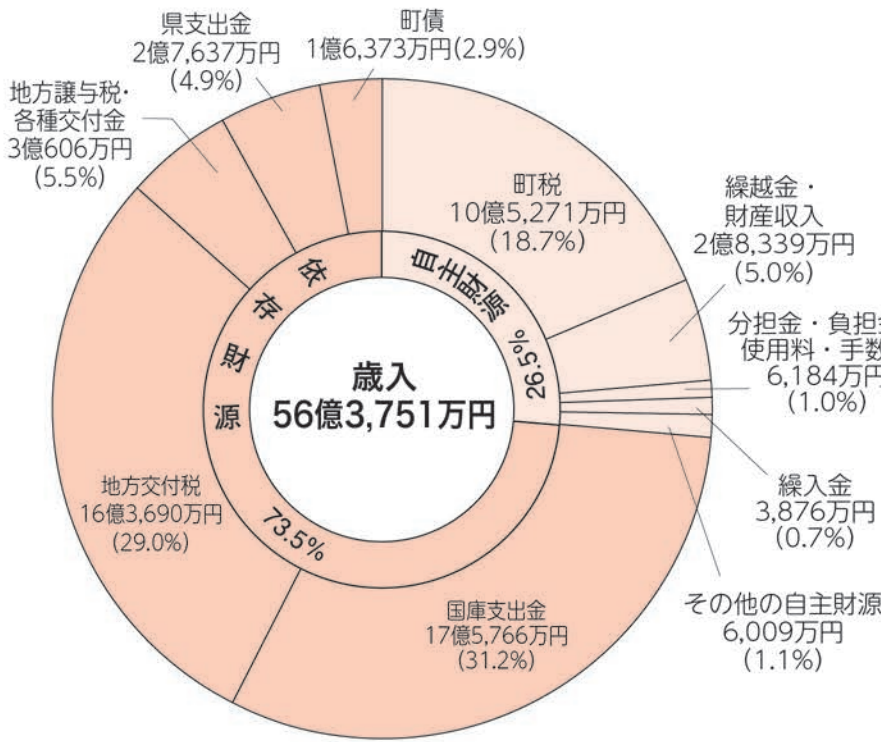
令和2年度

決算報告

令和2年度は、①楽しく子育て・元気で長生き対策、②教育・文化・スポーツの推進、③環境保全、産業・観光振興、④安全で快適な生活基盤の整備、⑤移住・定住の促進、⑥結婚支援の6点を柱として、第5次皆野町総合振興計画に掲げる「住んでみたいまち、住み続けたいまち、ときめきの皆野」の実現に向けて取り組みました。

一般会計決算額

歳入	56億3,751万円
歳出	54億 555万円
翌年度への繰越額	2億2,042万円



歳入

前年度と比べて12億9,663万円増加しました。

町の主たる自主財源である町税は、個人町民税が728万円の減、法人町民税は178万円の減、固定資産税が1,683万円の減となり、全税目の計では前年度から2,452万円の減となりました。

地方交付税は、普通交付税が1億8,041万円の増、特別交付税が3,883万円の減となりました。

国庫支出金は、特別定額給付金給付事業費国庫補助金や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを受け、前年度に比べて13億8,298万円の増となりました。

歳出

①楽しく子育て・元気で長生き対策

高校3年生までの医療費無料化のため、こどもの医療費支給事業として2,412万円を支出しました。また、子育て世帯定住促進奨励補助金として2,450万円を交付しました。

②教育・文化・スポーツの推進

秩父地域のマレットゴルフ場を下野沢地区に新設しました。また、国のGIGAスクール構想に基づき、小・中学校の児童・生徒が1人1台タブレット端末を利用できるように整備しました。

③環境保全、産業・観光振興

旧日野沢小学校跡地を活用して、日野沢川の自然に親しむ親水公園を整備しました。農業振興では、有害鳥獣防護柵等設置費補助金を80万円、有害鳥獣駆除委託料を60万円支出しました。

④安全で快適な生活基盤の整備

各地区で町道などの改良工事を実施し、生活道路の改良・補修を進めました。道路・橋りょう費の合計は1億8,993万円でした。

⑤移住・定住の促進

移住相談センターを拠点に移住希望者へのサポートや情報発信などを行う地域おこし協力隊の活動費として240万円支出しました。また、空き店舗などを活用した創業支援のため、空き店舗等活用補助金を2事業者へ合計150万円交付しました。

⑥結婚支援

結婚希望者の相談を受け、仲立ちなどを行い、実際に結婚に結び付けていただけたかたの登録制度を創設しました。

新型コロナウイルス感染症対応事業

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、感染防止対策や経済支援、学習環境整備など52事業を実施しました。感染防止対策として、公共施設における感染防止対策用品・設備の整備(410万円)、行政区公会堂等避難所環境整備(2,573万円)、新型コロナウイルス感染症対策奨励金の交付(1,670万円)を実施しました。

経済支援として、プレミアム率50%の商店応援先払いチケット販売助成(1,200万円)、キャッシュレス決済促進事業(2,546万円)などを行い、町内事業者を支援しました。

給付支援として、18歳以下の子どもを対象とした子育て応援給付金(2,745万円)、特別定額給付金の対象外新生児を対象にした新生児臨時特別定額給付金(470万円)、給食費無償化(2,782万円)、中小企業応援給付金(2,370万円)などを支給しました。

また、学習環境の整備として、小学校昇降口の分散化(300万円)、幼稚園・小中学校の網戸等設置(402万円)、臨時休業等に対応した学習環境整備(1,998万円)を行いました。